

# コロナ禍での運動会



今年度は、富田小学校PTAの行事であるサマーフェスティバルなどのイベントが次々と中止になる中、運動会は本当にできるのか？と悩んでいるところに、PTA理事会で校長先生から1・2年、3・4年、5・6年に分け、3日間午前中の各2時間の分散開催が提案されました。

その理由として、

- ・少しでも密を回避できる
- ・校舎の影になるので熱中症予防ができる
- ・お弁当の準備を考えなくても良い
- ・午前中短縮開催より種目数が増える
- ・参観者の人数制限をしなくて済む
- ・PTA役員の負担が減る

## 「初の試み」分散運動会

「いつもなら普通に行えたのに、それができない今年度において、様々な人が協力してくれているか

参観した保護者からも「これもありだね。」という肯定的な意見も数多く耳にしました。また、愛媛新聞にも大きく取り上げられ、YAHOOのトップページにもなりました。

「観に来る人を制限すれば良い」と思っています。無事にできるのだろうか？という不安を抱えながら、運動会当日を迎えることとなりましたが、子供たちが真剣に、楽しそうに躍動している姿を見て、運動会ができてよかったな…とより強く思うようになりまし。



# 輝くひとみ

第29号

令和2年12月15日発行  
今治市PTA連合会  
ホームページアドレス  
<http://www.imabarity-pta.jp>



「チョコちゃんに叱られる」のチョコちゃんによると、人生にトキメキがなくなると、時間を短く感じるようになってしまったので、子供の時に比べて、大人になってからの方が、あつという間に時間が過ぎてしまうようです。それが原因なのか、新型コロナウイルスが流行してからというもの、すぐに時間が過ぎていったような気がしますが、まだまだ、難しい状態ですが、少しでもトキメキを感じられるよう、皆さん、できることをやりましょう。

(富田小 木原 健二郎)

「新しい何かができるんだ」ということをより強く感じます。何ができるのか、何だったらやっというのか、正解がない状況だからこそ、些細なことでもいいので、こんなやつたら楽しかった、こういうふうによつたらいいよ、などの情報があれば教えて欲しいです。

## 連合会長挨拶



今治市PTA連合会 会長 中川 豊和

今年度、今治市PTA連合会（以下、連合会）の会長を拝命しました、中川豊和と申します。どうか、よろしくお願いを申し上げます。本年度の連合会は、みなさまの学校と同じく「コロナ」の影響で、ほとんど活動ができておりません。毎年楽しみにして下さっている方の多い、連合会主催の親善球技大会は中止、7月5日開催予定の情報交換会（PTA会長会）も延期。実質の役員会さえ7月15日になんとか初回開催ができ、スタートを切る事ができました。ここで連合会について少し書かせていただきます。会則では、今治市立小中学校単位PTAをもって連合会を組織し、今治市立小中学校PTAをもって連合会の会員とする、とあります。また、目的として連合会は、会員相互の親和及び連携を図り、もって活発な単位PTA活動を促進し、教育の振興を図り、潤いある地域及び家庭を作る事によって、児童生徒の豊かで伸びやかな成長に寄与する事を目的とする、とあります。組織図は、本部役員、専門部理事、顧問、事務局からなる「役員」と、1区（旧市内）、2区（旧越智郡陸地部及び関前）、3区（島嶼部）にそれぞれ区長を1名おき、以下それぞれの地域の学校を含めた組織で構成されています。この「役員」の中の専門部は、総務部、広報公聴部、家庭教育研修部、PTA活動支援部の4部で構成されており、それぞれの活動をもって、連合会の活動となります。本年度の活動内容は例年とはおおきく変わっており、10月4日に「令和2年度今治市PTA連合会会長会」を開催、多くの学校間での情報共有ができ、帰りに参加者にお願したアンケートで「今後の活動に役立てていけそうですか？」の問いに95%以上の「はい」をいただきました。まずは開催できてよかったと感じました。1月24日に「今治市PTA連合会 令和2年度 研修大会」として「SNSトラブル事例とその対応に学ぶこれからの社会」と題した講演会を、連合会顧問弁護士であり、医師・弁護士の長谷部先生を講師にお招きして開催を予定しております。「コロナなのでできない」選択もあるなか、令和時代を生きる保護者として、本会の目的に想う「子どもたちの未来のために」、できる事を考え出し協議を続け創り上げ、皆さんと「笑顔で実行」できるために惜しみない努力をこれからも続けてまいります。ホームページや、フェイスブックなどを活用した情報発信もしておりますので、ぜひ、ご確認くださいませ。最後になりましたが、皆様のご活躍とかけがえのない素敵なお子育の時間を過ごされる事を願い、挨拶とさせていただきます。

# コロナ禍での運動会

## コロナ禍でも「全集中」



令和二年九月十三日、大島中学校運動会が開催されました。コロナ禍の中、PTA役員会で議論された結果、開催時期については例年通り九月開催となりましたが、感染防止のため次のような取り決めを行いました。①昼食の密を避けるため、午前中のみ半日開催とする。②来場者は保護者を原則とし、高齢の方、基礎疾患のある方、兄弟姉妹のうち小学校高学年程度以上の留守番ができる方にはご遠慮していただく。③必ず当日自宅での検温を実施し、体調の悪い方はご遠慮していただく。④食事の持込は禁止で水分補給のみ。といった内容となりました。



会場設営に関しては、密を避けるために保護者席にテントは設けず、観覧ゾーンとして椅子の数を制限して設置し、演技毎に入れ替わって観覧していただくようにしました。暑さ対策のための休憩用テントも最小限にとどめて、なるべく密になる状態をつくらないようにしました。また、「えひめコロナお知らせネットワーク」のポスターを設置し有効活用をお願いしました。演技種目は接触をできるだけしないよう、徒競走メインで組まれました。運動場のトララックもセパレートコースに仕切り万全の対策を取りました。

いざ当日は天候にも恵まれ、暑い中、ハツラツとした演目が繰り広げられました。私達保護者も生徒も自粛しなければならぬことはわかってはいるものの、思わず応援に熱が入り、大きな声援で場が盛り上がりました。世の中が自粛ムードで落ち込む中、運動会で生徒達の笑顔と一生懸命頑張っている姿を見て、私もすこく勇気付けられました。

本来ならば運動会とは、生徒達にとつては、カラダとカラダをぶつけ合い、友情を育



み、一生の思い出を作る大切なイベントです。保護者にとつても、普段はなかなか見ることができない、学校での子供達の活躍を目のあたりでできる機会であり、お昼の時間は家族や友達と絆を深め合うことができる重要なイベントであります。いつの日かコロナが収束しても、なかなか元の状態に戻るには難しい部分も多いと思います。しかし、どんどん地味になるのではなく、運動会をずっと皆の思い出に残る大切なイベントとして繋げていかなければならないと改めて強く思いました。

(大島中 村上 嘉二)

## 各部長あいさつ

### 家庭教育研修部

部長 渡邊 俊輔  
(上浦小学校)



家庭教育研修部は、PTAカレンダー、家庭教育推進事業、研修会支援等の単位PTAの研修要望に応じた事業を執行できるように各部の活動を目指したいと考えます。至らぬ点は多々あるとは思いますが部員一同力を合わせて参りますのでどうぞよろしくをお願いします。

### PTA活動支援部

部長 長尾 正人  
(立花小学校)



PTA活動支援部は、各学校でのPTA活動の参考としてもらえるように情報交換会を開催したり、子どもたちの安全を確保するために、今治こども安心パトロール隊の活動推進に取り組んでいます。コロナ禍で大変な年ですが、部員一同、力を合わせて参りますのでどうぞよろしくをお願いします。

### 総務部

部長 村上 眞由  
(立花中学校)



総務部は総会、球技大会、PTA研修会などの運営を担当しています。今年はコロナ禍で中止になった行事もありますが、その中でも「子どもを取り巻くSNS環境について考える」をテーマに親子でSNS環境に対応できる知識の習得を目指し、活動していきます。

### 広報公聴部

部長 安永 陽彦  
(菊間中学校)



広報公聴部は、ホームページ、フェイスブックにて、各研修会、情報交換会などの情報を発信しています。また、広報紙「輝くひとみ」を年2回発行しています。今年はコロナ禍の中で、球技大会、広報研修会など様々なイベントが中止になりましたが、部員一同力を合わせてより良い活動が出来る様努力していきますので1年間よろしくをお願いします。

## 編集後記

皆様のご協力のもと「輝くひとみ28号」を無事発行出来ましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。さて、今回の「輝くひとみ」はどうでしたか？今回は女性役員に目を向け、女だから、そしてお母さんだからできること！と題して輝ける女性役員の座談会を取り上げました。広報紙「輝くひとみ」としてびっぴりのテーマだと思えます。また、行事報告やリアルタイムな情報をフェイスブックにてアップして行きますので併せてぜひご覧になって下さい。最後に、このコロナ禍が早く収束して今までと同じ様な、いや、今まで以上の楽しい学校生活が送れることをお祈りしながら編集後記とさせていただきます。

# 市P座談会

## お母ちゃん PTA奮闘中

子どもの輝く未来のため、  
まずは自分たちが輝く

8月の暑い日に、暑い暑い思いを持って女性3人が、女子会(座談会)を行いました。3人ともPTA会長・副会長としていろんな思いを胸に日々活躍しております。彼女たちと一緒に活動しております、私、竹田がインタビューとしてお話を聞いてみました。特別ゲストに中川会長と織田顧問にもお越しいただいています。



のこと、一旦リセットしてしまつたらいいんじゃないですか。誰もやりたがらない誰も必要としない組織はある意味があるんですか?と一旦問うてみて、それでも、わたしはやりたくないけど誰かはこれをやってくれないと困る。楽しみにしていることもあるんです。って言うなら、楽しみにしている人がどれだけのいるか、欲している人がどれだけのいるか、それだけのコストを割けるかというのをテーブルの上で広げてみて実現可能かどうかを話し合う段階にきているのではないかと。聞きたい気持ちがあります。



(真由) 立花中学校の3年生と鳥生小学校の6年生に娘がいます、村上真由と申します。市Pは5年目になります。総務部長と副会長をさせて頂いています。

(千佳) 去年まで大島中学校でPTA会長をしてました村上千佳です。今年度は市Pの顧問として小中学校に子どもはいないんですが、あと1年PTA活動をがんばります。

(久保田) 私は出身が大阪で5年前に大島に引っ越ししてきました。いわゆるIターンで、何の縁もなく親戚もいません。いいところだなあ。と思つて来させていただきました。上の子どもが小学校に入学するタイミングで引っ越ししてきました、地域の結束力も強く、新参者の私ですがPTA会長に。とお声をかけていただき今年度宮窪小学校のPTA会長を引き受けました。久保田茜と申します。

(司会) つぎに、PTA役員になったきっかけを教えてください。

(司会) PTA会長の大役を無事に終えられた千佳さんは、どうですか?

(千佳) 前の前のPTA会長に、市Pに誘っていただいて。わたしも頼まれると、断れない性質(タチ)で(苦笑)むかしはずっと、宮窪小、吉海小と順番に会長をしていたんですけど、そのしきたりもそろそろなくなつて。ということ、教頭先生から「千佳ちゃん、1年だけ会長を引き受けて。その1年



でも難しいよね。市Pは、おかげさまでこれがやりたい。っていうと一緒に行動を起こしてくれるし、「GO」も出してもらえるのでありがたいよね。真由さんもやりたいことがあって、もう1年総務部長、名乗りでたんですよ。

(真由) そうなんよ。もっとFC今治とつながりたい。と勝手に思つてたんですけど。でも、会長がずっとSNSに対する子どもの環境をよくしようって言うのも、確かにコロナの影響で家にいる時間も多くなつて、SNS、本当に小さい子どもから、ちゃんと使えていない大人もいるのにそれをどうやって子どもに指導できるかとか、アドバイスできるかというのを、最初は「うん、うん。」くらいの気持ちで聞いてたんですけど、本当にちゃんとやらんといかんやつて。って、引き受ける気持ちになりました。

(会長) おおっ! ありがとうございませう。

(司会) 最後にPTA会長や役員をやつてよかったな。って思うことを教えてください。

(久保田) まだ、何もしていない。していないんですけど、やっぱりわたしの間に

の間につぎの会長も探すけん。この1年だけ、誰もいないから、自分がおる間だけ頼む。」と言われまして。

(司会) でも、頼まれたからってなかなか引き受けれんと思うよ。

(千佳) 島は、市内の学校のように行事とかなくて、本当ににもしないんですよ。

(顧問) でも、千佳さんは、どちらかというとシャイやないですか? 壇上に上がったのあいさつは、大丈夫だったんですか?

(千佳) そうなんですよ。それもすごくネックだったんですけど、結局は少年式だけで、あとはコロナの影響でしなかったんですよ。

(会長) なるほど。

(司会) 久保田さんも頼まれると断れないと言つてましたが、今までも何か経験があったんですか?



(久保田) わたし、ちょうど前の年に子ども園の保護者会の会長をやつて、まあ、それがえらい苦労したんですけど、わたし、やるんだしたら面白くないとやりたくないんですよ。今までのことを、爾々と続けることができない性分、まあまあひっくり返したんですよ。その反発がすごくて。

(顧問) 田舎って、変化を嫌うからね。

(久保田) そうなんですよ。それが予想以上で、仲のいい母親同士も、仲間だから和気藹々とやりましよう。って言つてたところまで、崩壊してしまつて。

(真由) みなさん言われたように、出会いや先生とつながりを持てるのがよかったと思います。自分がすごく楽しくつて、子どもにも「ママ楽しそう



(顧問) 言い方悪いけど、よそから来た者がつてころもあつたんで?

(久保田) そうなんですよ。でも、一方では何のしがらみもないよそ者が変えてくれるという期待もあるんですよ。わたしは、いろいろとひっくり返してはありますが、努力もしたつもりではあるんですよ。お泊り保育を園では、絶対しません。でも、保護者が勝手にするんなら、ご自由どうぞ。って言われて。よっしゃ、やるぞ! って(笑)

もちろん、参加したくない人は参加しなくてもいい。自由ですよ。って感じでもやりました。次の年には、見事に元に戻りましたけど(笑)

(真由) でも、若いお母さんとか、そういうしがらみが嫌つて思つてるお母さんたちの心には、絶対響いてると思つたので、無駄ではなかつたと思う。すぐには、全部ひっくり返らないと思うけど、いつかは... ね。

(久保田) そうなんですよ。やっぱり組織の意思決定のプロセスの難しさとかすごく勉強になりました。わたしは、まあちょっと余興を提供できたかな。みなさん楽しんでいただけたかな。くらしいの気持ちではないと、あつちで言われてフラフラこつちで言われてフラフラではダメ。そこだけは、おれないうちにしないと、最終的に意思決定の責任はこつちにあるので。

(司会) それだけのパワーがあるので、今年PTA会長になって、やりたいことがあるのでは?

(久保田) そうなんですよ。いっぱいあつたんですが、それこそ、コロナの影響で、まったく何もできないところか、PTA活動自体ができない(笑)

(司会) ちなみにどんなことがしたかったか、できるできないは別として理想でいいのでは?

(久保田) まず、PTA役員つて決まらないじゃないですか。押し付けがましいんですよ。できることなら、誰かに押し付けたい。っていう空気があまりにも蔓延してしまつてるので、いっそ

やね! つていつも言われて、そういう相乗効果つてもよかつたと思つてます。子どもと一緒に自分も成長させてもらつてるな。と感じてます。ここにいなかつたら、経験できなかったことも経験させてもらいました。なので、今後、活動の発信の手段・方法がわからない方の手助けができればいいな。と思つてます。

お母ちゃんとして、PTA役員として、子どもたちのために一生懸命考えて、行動して、キラキラ輝いているそんな素敵な女性たちでした。まだまだ話し足りない。だつて、女の子だもん(笑)。後ろ髪を引かれながら、座談会はお開きとなりました。実は、この日、愛媛県Pの会長・副会長も来てくださり、最後にすばらしいお話を聞くことができました。そのお話は、またの機会に。



(桜井小 竹田 美和)